

別表第3（第27条関係）

種 目	性能等	対象者	基準額	耐用年数
特殊寝台（訓練用ベッド）	腕、脚等の訓練のできる器具を付帯し、原則として使用者の頭部及び脚部の傾斜角度を個別に調整できる機能を有するもの	寝たきり状態にある者	166,320 円	8 年
特殊マット	褥瘡の防止又は失禁等による汚染又は損耗を防止できる機能を有するもの	寝たきり状態にある者	21,500 円	5 年
特殊尿器	尿が自動的に吸引されるもので、難病患者等又は介助者が容易に使用し得るもの	自力で排尿できない者	72,360 円	5 年
体位変換器	介助者が難病患者等の体位を変換させるのに容易に使用し得るもの	寝たきり状態にある者	16,200 円	5 年
移動用リフト	介護者が難病患者等を移動させるのにあたって、容易に使用し得るもの（天井走行型その他住宅改修を伴うものを除く。）	下肢又は体幹機能に障害のある者	159,000 円	4 年
入浴補助用具	入浴時の移動、座位の保持、浴槽への入水等を補助でき、難病患者等又は介助者が容易に使用し得るもの（設置に当たり住宅改修を伴うものを除く。）	入浴に介助を要する者	99,000 円	8 年
便器	難病患者等が容易に使用し得るもの（手すりを含む。取替えに当たり住宅改修を伴うものを除く。）	常時介護を要する者	11,000 円	8 年
移動・移乗支援用具	おおむね次のような機能を有する手すり、スロープ等で、難病患者等の身体機能の状態を十分踏まえ、必要な強度と安定性を有し、転倒防止、立ち上がり動作の補助、移乗動作の補助、段差解消等の用具となるもの（設置に当たり住宅改修を伴うものを除く。）	下肢が不自由な者	66,000 円	8 年

特殊便器	温水温風を出し、難病患者等が容易に使用し得るもの（取替えに当たり住宅改修を伴うものを除く。）	上肢機能に障害がある者	166,300 円	8 年
自動消火器	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴射し、初期火災を消火し得るもの	火災発生の感知及び避難が著しく困難な難病患者等のみの世帯及びこれに準ずる世帯	31,500 円	8 年
ネブライザー	難病患者等又は介助者が容易に使用し得るもの	呼吸器機能に障害のある者	39,600 円	5 年
電気式たん吸引器	難病患者等又は介助者が容易に使用し得るもの	呼吸器機能に障害のある者	62,000 円	5 年
居宅生活動作補助用具	難病患者等の移動等を円滑にする次の居宅生活動作補助用具と住宅改修 ア 手すりの取付け イ 段差の改修 ウ 滑り防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更 エ 引き戸等への扉の取替え オ 洋式便器等への便器の取替え カ その他アからオまでの住宅改修に付帯して必要となる住宅改修	下肢又は体幹機能に障害のある者	220,000 円	1 家屋につき基準額まで複数回給付可能。ただし、家屋を移転した場合、直前の申請から 5 年を経過しない時は申請できない。
動脈血中酸素飽和度測定器（パルスオキシメーター）	難病患者等又は介助者が容易に使用し得るもの	人工呼吸器の装着又は医療保険における在宅酸素療法が必要な者	人工呼吸器の装着が必要な者 173,200 円 在宅酸素療法が必要な者 42,700 円	5 年
人工鼻	難病患者等又は介助者が容易に使用し得るもの	人工呼吸器の装着又は気管切開が必要な者	10,700 円 （1 か月当たり）	—
紫外線カットクリーム	紫外線をカットできるもの	紫外線に対する防御機能が著しく欠けて、がんや神経障害を起こすことがある者	41,500 円 （年度当たり）	—

人工内耳用電池	人工内耳外部装置用の電池として、対象者が容易に使用し得るもの	聴覚障害を有し、人工内耳埋込手術を受け、現に装用している者	空気亜鉛電池 月額 2,500 円 充電電池 24,400 円	空気亜鉛電池 — 充電電池 2 年
人工内耳用充電器	人工内耳外部装置用の充電電池に適合する充電器で、対象者が容易に使用し得るもの	聴覚障害を有し、人工内耳埋込手術を受け、現に装用している者	25,400 円	5 年
人工内耳体外装置	人工内耳用音声信号処理装置、マイクロホン、送信コイル、送信ケーブル、マグネット及び接続ケーブル等で、対象者が容易に使用し得るもの（民間保険及び医療保険が適用されるものを除く。）	聴覚障害を有し、人工内耳埋込手術を受け、現に装用している体外装置が 5 年以上経過している者	203,700 円	5 年
暗所視支援眼鏡	高感度カメラで捉えた微光を増幅させる機能を有し、眼鏡のディスプレイに鮮明な画像として投射できるもので、視覚障害者が容易に使用し得るもの	夜盲又は視野狭窄のある者	395,000 円	8 年
人工呼吸器用バッテリー	使用している人工呼吸器専用のバッテリー（充電器及びインバーター等を含む。）	人工呼吸器の装着が必要な者	200,000 円	5 年
自家発電機	A C 100 V（正弦波）の出力ができ、人工呼吸器用のバッテリー等を充電できるもの		100,000 円	10 年
外部バッテリー又はポータブル電源	A C 100 V（正弦波）の出力ができ、使用する医療機器の消費電力（W）に対応できるもの	呼吸器機能障害を有し、電気式たん吸引器又はネブライザーを使用している者	50,000 円	5 年

（注 1） 人工鼻、人工内耳用電池、人工内耳用充電器及び人工内耳体外装置については、入院中及び施設入所中の者にも給付できるものとする。

（注 2） 人工鼻については、診療報酬の対象となる範囲を超えたものについて支給する。

（注 3） 入浴補助用具及び移動・移乗支援用具については、障害の状態等が変化し、前回給付したもので日常生活が送れない場合、耐用年数内でも給付できるものとする。

- (注4) 入浴補助用具及び移動・移乗支援用具については、用具の種類が異なる場合に限り、最初の支給決定に係る当該用具の耐用年数内において基準額まで複数回給付できるものとする。
- (注5) 人工呼吸器用バッテリー、外部バッテリー又はポータブル電源については、基準額まで複数台給付できるものとする。
- (注6) 外部バッテリー又はポータブル電源については、日常生活用具給付履歴等で電気式たん吸引器又はネブライザーの使用が確認できる場合、医師の意見書を省略することができるものとする。